

「教育目標：心豊かに自ら生き抜く、心身ともにたくましい生徒の育成」

平成27年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成27年12月11日(金)発行 第 33 号 発行責任者:高橋 弘悦

よい年が迎えられますように…

年末環境整備を行いました

10日、環境整備として年末大掃除を行いました。2015年1年にわたって鍛えてくれた校舎に感謝し、新しい年をすがすがしい環境のもとで迎えることをねらいとしています。

年末の大掃除は、本来は旧暦の12月13日に行われていたとのこと。これは徒弟奉公などの人々が新年に間に合うよう里帰りの旅路の時間を考慮しての事だそうです。

本校の環境整備作業は、床を丁寧に磨いて、仕上げにワックスを塗る作業が中心です。本校生徒は、どの学年もとてもよくはたらきま

す。心がきれいな証拠だと思います。2016年もきっと今年以上の神様が舞いおりてくださることと思います。



健康管理に留意しましょう！

今週は、体調を崩す生徒、教職員がとて多かったです。のどの痛みや発熱などのかぜの症状ばかりでなく、吐き気や腹部の異常を訴える生徒もいました。寒かったり、異常に暖かかったりと体調管理が難しいことも要因の一つと思います。

うがい手洗いの励行など、通常のかぜ予防をしっかり行うと共に、抵抗力が低下しないよう、早寝早起きを心がけるなど、日常生活習慣を整えることも大切です。学校の保健だよりを参考に、健康管理にご協力ください。

なお、学校ではお茶うがいを励行させると共に、状況を見て部活動等を中止し、早めに下校させるなどの措置を執ることもあります。あらかじめご了承ください。



武士の情けの收容所に響く「歓喜の歌」

12月7日 集会講話から

12月になると、ベートーベンの第9交響曲がよく演奏されます。一説では、年末の音楽家たちの収入増を狙ったものだ、などという夢のない話もありますが、合唱の部分で聴くと、「今年も終わりか…。来年も頑張るぞ！」という気分させられ、個人的には気分を高揚させられる曲の一つとなっています。

さて、この第9交響曲の日本での初演に、会津出身の方が深く関わっていることをご存じでしょうか。「バルトの楽園」という松平健主演の映画にもなっています。

時は1914年（大正三年）6月・・・サラエボ事件をきっかけに始まった第一次世界大戦は、ヨーロッパを主戦場に、イギリス・フランス・ロシアなどの連合軍と、ドイツ・オーストリアの同盟軍との戦いに世界中の多くの国が参戦するという人類史上初の世界大戦となりました。

当時の日本は、イギリスとの日英同盟に基づいて連合国側として参戦・・・8月にはドイツに宣戦布告して、中国の青島にあったドイツ軍の極東拠点に攻撃して、要塞を陥落させました。

この時、降伏したドイツ軍から、捕虜となって日本に送られて来たドイツ兵は約4600人…そのうちの約1000人が、徳島県板野郡板東町にあった板東俘虜收容所に收容されたのです。

当時、ロシアに囚われてシベリアに送られたドイツ軍捕虜は、その手紙の中に「（日本に收容された）わが同胞は救いと考

えた」と、書いているほど、日本側の捕虜の扱いは人道的だったのです。

板東俘虜收容所の所長であった松江豊寿大佐は、「博愛の精神と武士の情けをもって俘虜に接する事」を、全職員に訓告し、それを実践…捕虜たちの自主活動を推進した人でした。この松江大佐が、会津藩出身だったのです。

もともと、捕虜たちの中には、すでに社会人として就労していた中で志願兵となって戦いに挑んだ者も多かった事で、家具職人や時計職人、楽器職人や写真家など、様々な技術を持っていた者もたくさんいて、彼らの技術を活かして現地に建設されたドイツ橋という石橋も造り、現在に残っています。

そんな彼らは、文化活動も盛んで、日本語教室も開かれたほか、講演会や演劇やスポーツも楽しんでいて、收容所には、地元の人々の見学が絶えなかったと言います。

そんな中で、大正七年（1918年）6月1日に行われたのが、彼らドイツ兵捕虜によるベートーベンの交響曲第9番の演奏…これが、日本初の「第九」という事です。

後に祖国に帰った捕虜たちの間で、この收容所での生活を懐かしむ「バンドー会」なる親睦会が、各地で結成されたと言いますから、日本人としては、しかもその所長が会津の人と聞くと、なんとなく誇らしくウレシイです。

これらの事で、この板東俘虜收容所は、今なお最も有名な俘虜收容所と言われ、捕虜と住民たちの交流は、文化的にも学問的にも、さらに、食文化の西洋化にまで…日本とドイツに大きな影響を与え、両国の発展を促したとの評価を受けています。



2015年（平成27年）12月10日（木曜日）



賞状を披露する杉原さん(中央)と金子君(左から2人目)

全国きものデザイン 杉原さん(西山)入賞

柳津町長、教育長に報告

柳津町の西山中三年の杉原友稀さんは全国染織連合会主催の第九回全国きものデザインコンクールのジュニア中学生の部で滋賀県知事賞に入賞した。派手な着物にならなように意識し、角から放射状に線を延ばすことでデザインを作り上げた。色は西山地区

柳津町の西山中三年の杉原友稀さんは全国染織連合会主催の第九回全国きものデザインコンクールのジュニア中学生の部で滋賀県知事賞に入賞した。派手な着物にならなように意識し、角から放射状に線を延ばすことでデザインを作り上げた。色は西山地区



滋賀県知事賞に選ばれた杉原さんのデザイン

とほすばらしい。これからも個性を磨いてほしい」とたたえた。第三十六回FCT児童画展で福島中央テレビ賞を獲得した同校一年の金子天斗君、高橋弘悦校長らも一緒に訪れた。

福島民報より

大きく報道されました。 →